

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	宮古市立重茂中学校
授業者	川崎 淳子（コーディネーター） 東京大学大槌沿岸センター研究員、重茂漁協ほか地域の方々（アドバイザー）

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

海の研究

#### 1-2. 学年

3 学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

#### 1-4. 単元の概要

4 月 「海」についての調べ学習の個人発表  
5 月 「海の研究」テーマ決定と調査計画作成  
6 月～ 調査、調べ学習  
7 月 第一次発表原稿の作成  
8 月 途中経過発表と東京大学大槌沿岸センター研究員からのアドバイス⇒原稿直し  
(3 1 日) 第一次「海の研究」発表会 地域の方々からのアドバイス  
9 月 追調査 原稿直し  
1 0 月 文化祭「海の研究」発表  
1 1 月 研究のまとめを宮古市重茂水産体験交流館に展示

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

それぞれの「海の研究」テーマの調査活動、発表を通して課題設定、課題解決、振り返りからの改善の過程の中で課題解決能力、表現力を培う。また、地域への愛着を深めながら、地域、社会の未来を考える資質を養う。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

・様々な課題や困難を乗り越え、夢や希望を持ち、主体的に自己の生き方を考えることができる生徒  
災害などの困難にも、解決の糸口を見出し、前向きに生きる力  
自分の将来、重茂の未来、社会の未来を語る力と行動力

1-7. 単元の展開（全 30 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	<p>【研究テーマの設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「海」に関わる個人の調べ学習の発表</li> </ul> <p>→似たようなテーマでグループ分けを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに「海の研究」のテーマを決める</li> <li>・研究・調査計画作成</li> </ul>	<p>東京大学大槌沿岸センター研究員の皆様 担任による研究の進め方についての指導</p>
10	<p>【情報収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習を進めながら、研究計画の修正</li> <li>・東京大学大槌沿岸センター研究員から研究の進め方についてのアドバイスをいただく</li> <li>・訪問や電話、図書館での文献調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京大学大槌沿岸センター研究員の皆様</li> <li>・地域の訪問施設</li> </ul>
8	<p>【整理・分析①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表形式に沿って、「keynote」にまとめる。</li> <li>・発表の準備やリハーサルを含めた学級発表会を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員による調査データのまとめ方指導</li> </ul>
6	<p>【整理・分析②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次「海の研究」の発表会</li> <li>・アドバイスを受けての調査研究の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京大学大槌沿岸センター研究員</li> <li>・地域のアドバイザー (重茂漁協、地元漁師他)</li> </ul>
2	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭での発表</li> <li>・発表資料を地域施設へ展示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京大学大槌沿岸センター研究員や保護者、地域の方から感想・アドバイスをいただく</li> </ul>
1	<p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の振り返りを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任 研究発表の評価およびテーマ研究のまとめに対する今後の向き合い方についての指導</li> </ul>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ





単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

「海の研究」に関わる中間発表会を行い、アドバイザーによるヒントを得ながら、さらに探究活動を深める。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>3 年希望学第一次発表会次第</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会の言葉（生徒）</li> <li>2 校長挨拶</li> <li>3 東大研究者の方から</li> <li>4 発表 7グループ（準備+発表=5分）質疑 2分               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) Project SABA</li> <li>(2) あわびについて</li> <li>(3) 重茂の海の変化</li> <li>(4) 重茂に流れ着くゴミ</li> <li>(5) かに</li> <li>(6) 消波ブロックについて</li> <li>(7) 重茂の将来の漁業</li> </ol> </li> <li>5 講評</li> <li>6 生徒感謝の言葉</li> <li>7 閉会の言葉（生徒）</li> </ol> <p>生徒は、漁業の専門家・研究者からのアドバイスを受けて文化祭発表まで内容を深めようと、今後に向けて見通しを持つことができた。</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <p>〈アドバイザー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京大学海洋センター研究員</li> <li>・ 漁協</li> <li>・ 学校運営協議会委員</li> <li>・ アワビ種苗センター長</li> <li>・ 地域住民（回覧、オフトークで周知）</li> </ul> <p>●講評いただいたアドバイスについて、今後の研究の進め方の見直し、修正の計画を検討しているか</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>

### 3. 今回の活動の自己評価

今年度は、海洋パイオニア企画からの補助金もいただき、例年より多くの場所に訪問し調べ学習を行うことができた。また、生徒の考えるテーマが地域の抱える課題となっていることもあり、多くのアドバイスもいただき学びの深いものになったと思う。

生徒の地域に対する思いを、この単元の学習を通じて表現できたり中学生として意見を持つことの大切さを学ぶことができ、大変有意義な学習の時間となった。

今後、少し離れた場所から地域のことを考えることになったときに、中学校での学びを生かし、また新たな考えを持つことができるようになってほしいと思う。

### 4. 今後の課題

・多くの方の協力により、調べる内容は充実していたように思えるが、まとめとして中学生なりの意見を持つことが地域の未来を考えた意見内容を、生徒同士やアドバイザーとも話す機会を積極的に設け、発信できる力を身につけさせたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。